

令和5年度多職種連携短期特別研修（特定研修生）実施要項

1 目的

多職種連携を効果的に行うためのネットワークの構築に向けて、多職種連携（※）の意義や課題を共有するとともに課題解決のための工夫等を明らかにする。事例検討と施策に貢献できる人材を育成する。

※医療、保健、福祉、教育、療育等に関する業務を行う関係機関相互の有機的な連携（こども基本法第13条）

2 主催

国立障害者リハビリテーションセンター学院、発達障害情報・支援センター、

3 協力

入間市、入間市教育委員会、埼玉県教育委員会、
国立武蔵野学院、国立きぬ川学院、秩父学園、

4 期間

・オンデマンド授業視聴期間

2023年11月1日～2024年2月29日

・ハイブリッド授業（国リハ学院または自宅等から参加）

ハイブリッド授業では、Q-SACCS、事例検討を実施する予定

2023年12月23日（土）16時00分～17時30分

2024年1月13日（土）16時00分～17時30分

2024年1月27日（土）16時00分～17時30分

2024年2月10日（土）16時00分～17時30分

5 場所

国立障害者リハビリテーションセンター学院より、オンデマンド授業とハイブリッド授業を開催

6 受講定員

25名（定員を上回る応募があった場合には選考となります）

7 受講資格

- ・多職種連携の必要性を感じている発達支援に関わる中堅職員（経験年数3年以上の保育士、教員、保健師、支援員、相談員、他専門職等）または施策の企画立案等に携わる者
- ・所属長からの推薦がある者
- ・オンデマンド授業とZOOMを使用するハイブリッド授業となるため、有線LANやWi-Fiなどのインターネット環境が整っていること
- ・自宅等からハイブリッド授業に参加する場合、グループワークがあるため、1人1台のカメラ+マイク付のPC、タブレットで受講できること

- ・規定時間数（オンデマンド授業（必修科目と選択科目を合わせて）20 講義とハイブリッド授業 4 回）以上受講できる者

8 研修内容

別紙参照

9 研修費用

実費負担（教材費）

10 受講手続

郵送（書留）により提出してください。（当日消印有効）

- ・受入願（書式 1）
- ・研修計画書（書式 2）
- ・履歴書（書式自由）
- ・所属長からの推薦書（書式自由）

11 受講申込期間

2023 年 10 月 1 日～2023 年 10 月 15 日

12 受講決定通知

2023 年 10 月 23 日に郵送します。

13 修了証書

ハイブリッド授業前に必修科目を受講し、全レポートを提出した者及び規定時間数以上履修した者に対し、修了証書を授与します。

14 その他

- ・本研修は ICT を活用した双方向型研修であり、ZOOM や Google Classroom を使用します。受講決定の際に、研修期間中に使用するアカウントを発行します。
- ・アンケート形式によるレポートの提出があります。提出したレポートは、名前を掲載しない形で参加者全員と共有します。
- ・ハイブリッド授業による事例検討を実施します。提供する事例の個人が特定できないように記入上の配慮をお願いします。
- ・一部聴講は受け付けておりません。

〈郵送先・問い合わせ先〉

〒358-0055

埼玉県所沢市並木 4 - 1

国立障害者リハビリテーションセンター

学院 多職種連携短期特別研修担当

TEL 04-2995-3100（内線 2626）

FAX 04-2996-0966

Mail renkeitankiken@nrkd.ac.jp